



市議会だより

IZUMO CITY COUNCIL PUBLIC RELATIONS MAGAZINE

平成30年(2018)8月20日 **No.53** 編集/議会広報誌編集委員会
発行/出雲市議会

天然のクーラー 八雲風穴

やくも ふうけつ
八雲風穴

約500年前に開山したお寺「福泉坊」隣に「八雲風穴」があります。

当時より「清涼山」と呼ばれ、冷たい風が吹く地域であると伝えられています。

真夏でも5～10度前後の冷風が出ており、天然のクーラーとして、毎年多くの人々が訪れます。(八雲風穴ウェブサイトより)

CONTENTS

○議会の動き……………	2	○請願・陳情・意見書……………	8	○政務活動費について……………	23
○委員会報告……………	3	○一般質問……………	9	○議会活動・編集後記……………	24
○採決の結果……………	6	○行政視察報告……………	20		

平成30年度

第1回出雲市議会（定例会）報告

平成30年6月11日から6月定例会市議会が開催され、平成30年度出雲市一般会計第1回補正予算などの議案を議決しました。

議会の動き

6月定例会では、「平成30年度（2018）出雲市一般会計第1回補正予算」の予算案件1件、「出雲市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」など市長提出の条例案件5件、「出雲市税条例の一部を改正する条例」など専決処分についての承認案件4件、「工事請負契約の締結について（次期可燃ごみ処理施設敷地造成工事）」など一般案件6件の議案が執行部から提案され、これらすべての議案について、原案のとおり可決または承認したほか、「出雲市教育委員会委員の任命」および「出雲市固定資産評価員の選任」に同意しました。

また、議員提出議案として「出雲市議会委員会条例の一部を改正する条例」を提出し、原案のとおり可決したほか、3件の請願と1件の継続審査中の陳情を採決し、意見書では、「地方財政の充実・強化を求める意見書」、「子どもの医療費助成に関する意見書」の2件を可決し、政府・関係機関に意見書を提出することとしました。

会期日程

開会 平成30年(2018)6月11日(月)

閉会 平成30年(2018)6月28日(木)

会期18日間

6月11日(月)	本会議（開会、議案上程・説明、議案質疑、討論、採決）	6月20日(水)	文教厚生委員会・予算特別委員会文教厚生分科会
6月13日(水)	本会議（一般質問・1日目）	6月21日(木)	環境経済委員会・予算特別委員会環境経済分科会
6月14日(木)	本会議（一般質問・2日目）	6月22日(金)	建設水道委員会・予算特別委員会建設水道分科会
6月15日(金)	本会議（一般質問・3日目、追加議案上程・説明、議案質疑、委員会付託）予算特別委員会	6月26日(火)	予算特別委員会
6月19日(火)	総務委員会・予算特別委員会総務分科会	6月28日(木)	本会議（委員長報告・質疑、討論、意見書案上程・説明、討論、質疑、採決、閉会）

常任委員会報告



はしご付消防ポンプ自動車を購入すべきものと決定

総務委員会

審査の付託を受けた案件は、承認案件2件、条例案件2件、一般案件1件、請願1件

議第9号は、備品の取得について議会の議決を求めるものです。はしご付消防ポンプ自動車1台（2億1492万円）を購入することを原案のとおり可決すべきものと決定しました。この車は、19年間使用したはしご付消防ポンプ自動車の代替車として購入するもので、配置場所は、出雲消防署本署です。

請願第3号「地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願」は、2019年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、国民生活を犠牲



はしご付消防ポンプ自動車
(参考車両)

にする財政とするのではなく、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立をめぐすよう、政府関係機関に意見書を提出することを求めるものです。審査の結果、採択すべきものと決定しました。

継続審査中の「子どもの医療費負担軽減に関する陳情」を不採択とすべきものと決定

文教厚生委員会

審査の付託を受けた案件は、承認案件2件、条例案件3件、一般案件1件、陳情1件

陳情第8号は、平成29年度12月議会、3月議会では時間をかけて議論を重ねた上で判断すべきであるため継続審査としていました。その後、閉会中に委員会を開催し、執行部から詳細な資料提供を受け、議論してきました。

審査の結果、本市の一般会計予算総額に占める子育て支援全体の割合が県内8市の中でも上位にあることや、さらに膨大な財源が継続的に必要になることから、医療費のみに特化せず、総合的な子育て支援の取り組みを実施すべきであること、また自治体間で助成範囲および助成額が異なることが、サービス競争を招きかねないとの考えか

ら、不採択とすべきものと決定しました。

なお、不採択とすべきものと決定しましたが、これまで開催した委員会の中で、子どもの医療費助成については、他市に追随しなければならぬとまではなく、市の財政や子育て支援全体を見据えた医療費助成制度を議会の責任において議論し、前向きな政策に取り組むべきとの意見が多くの委員からありました。



文教厚生委員会の審査のようす

次期可燃ごみ処理施設関連議案2件を可決すべきものと決定

環境経済委員会

審査の付託を受けた案件は、
一般案件2件

議第7号「工事請負契約の締結について（次期可燃ごみ処理施設の送電に伴う系統連系接続工事）」はこの工事を実施するに当たり、中国電力株式会社出雲営業所との工事請負契約を締結することに、議会の議決を求めるものです。

このことは次期可燃ごみ処理施設で発電した電気を知井宮町浅柄の変電所まで送るための設備です。審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

また議第13号「工事請負契約の締結について（次期可燃ごみ処理施設敷地造成工事）」は、この工事の実施にあたり、今岡工業・中筋組・フクダ特定建設工



次期可燃ごみ処理施設完成予想図

事共同企業体との工事請負契約を締結することについて、議会の議決を求めるものです。

審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

なお一部の委員からは積算をかなり下回る金額で受注されているが、しっかりととした施工ができるよう管理をしてほしいとの意見もありました。

請願第1号と請願第2号を採択すべきものと決定

建設水道委員会

審査の付託を受けた案件は、
一般案件2件、請願2件

請願第1号「高瀬川南側道路（上成橋東側）の改良と街灯に関する請願」は、道路と街灯の老朽化に伴い、危険部分の取り換えなどの整備を求めるものです。

現地視察を行い、請願者から説明を受け審査した結果、採択すべきものと決定しました。なお、一部の委員から、請願者の願意は分かるが、請願内容に県事業が含まれていることと、街灯は上成橋の西側にもあり全体で考える必要があるため、趣旨採択とすべきとの意見がありました。

請願第2号「塩冶一の谷線の早期着工を求める請願」は、大津地区の天津中央一の谷線と塩

冶地区を結ぶ都市計画道路塩冶一の谷線の早期着工を求めるものです。

現地視察を行い、請願者から説明を受け、審査した結果、採択すべきものと決定しました。なお、この路線は平成15年に同様の「陳情」を合併前の出雲市議会で採択していることから、議会の議決を重く受け止め、執行部に取り組んでいただきたいとの意見が一部の委員からありました。



請願者から説明を受ける委員（塩冶一の谷線）

一般会計第1回補正予算を可決すべきものと決定

予算特別委員会

審査の付託を受けた案件は、
予算案件1件

6月15日に補正予算全体に対する総括質疑を行い、また付託議案について詳細な審査を行うため、4分科会に分担して慎重な審査を行った結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。「平成30年度（2018）出雲市一般会計第1回補正予算」は、歳入歳出予算の補正として4億4300万円を追加し、予算の総額を773億9300万円とするものです。

歳出の主なものとしては、次のとおりです。農林水産業費は、本年1月・2月の被害や4月の地震により被災した農産物産施設等の復旧に対する補助金2500万円、および畜産競争力強化を目的とする補助金

350万円などの事業です。土木費は、次期可燃ごみ処理施設へのアクセス道路整備費3億5500万円の追加や、補助内示に伴う街路事業費の追加などの事業です。教育費は、「出雲市教職員多忙化解消プラン」に基づく推進事業などを、災害復旧費は、地震により被災した農地や農業施設、およびキララトゥーリマキ公園の復旧費3600万円などの事業です。

一方、歳入の主なものとして、国庫支出金および県支出金は、補助内示に伴う追加などが、寄附金は、企業寄附金の追加が、市債は、道路整備事業などの財源として、所要額がそれぞれ計上されています。

市に対し、委員会での指摘・意見を十分に踏まえた適切な予算執行を求めました。



予算特別委員会の審査のようす

議会傍聴に

ご利用できませんか

出雲市議会では、本会議および委員会を、原則公開しています。（ただし、議長および委員長の判断により非公開とする場合があります。）

当日、議場（委員会室）前の傍聴受付で、傍聴受付簿に住所、氏名を書いていただくだけで傍聴できますので、お気軽にお出かけください。

傍聴席は、議場60席、委員会室10席程度あります。事前の連絡は必要ありませんが、団体での傍聴を希望される場合には、議会事務局まであらかじめご相談ください。

託児サービスをご利用ください

本会議・委員会を傍聴される間、お子さまをお預かりする託児サービスをしています。

託児を希望される場合は、原則として希望日の1週間前までに申込みが必要です。

詳しくは議会事務局へおたずねいただくか、市議会のウェブサイトをご覧ください。

議案等の審査付託先委員会における審査結果に対する賛否状況の一覧です。議長は採決には加わりません。『賛』…賛成、『反』…反対、『－』…欠席・棄権、『除斥』…議案と一定の利害関係を有する議員は、採決の際に退席することになっています。

番 号	今岡 真治	玉木 満	山内 英司	後藤 由美	川光 秀昭	児玉 俊雄	錦織 稔	本田 一勇	大谷 良治	岸 道三	湯淺 啓史	神門 至	寺本 淳一	渡部 勝	福島 孝雄	原 正雄	西村 亮	大場 利信	伊藤 繁満	保科 孝充	飯塚 俊之	板垣 成二	萬代 輝正	板倉 一郎	多々納 剛人	川上 幸博	板倉 明弘	勝部 順子	山代 裕始	宮本 享	長廻 利行	福代 秀洋	
議 第 1 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議 第 2 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議 第 3 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議 第 4 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議 第 5 号	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議 第 6 号	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議 第 7 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議 第 8 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議 第 9 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議 第 10 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議 第 11 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議 第 12 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議 第 13 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
同 第 1 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
同 第 2 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
承 第 1 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
承 第 2 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
承 第 3 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
承 第 4 号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
意見書第1号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
意見書第2号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
請願第1号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
請願第2号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
請願第3号	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
平成29年度 陳情第8号	賛	反	反	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	反	賛	反	賛	反	反	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛

議長

平成30年度
第1回出雲市議会(定例会)

採 決 結 果

番 号	議 案 名	付託委員会	採決結果	賛成	反対
議 第 1 号	平成30年度(2018)出雲市一般会計第1回補正予算	予算特別委員会	原案可決	31	0
議 第 2 号	出雲市都市計画税条例の一部を改正する条例	総務委員会	原案可決	31	0
議 第 3 号	出雲市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	文教厚生委員会	原案可決	31	0
議 第 4 号	出雲市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	文教厚生委員会	原案可決	31	0
議 第 5 号	出雲市税条例等の一部を改正する条例	総務委員会	原案可決	30	1
議 第 6 号	出雲市個人番号カード利用条例を廃止する条例	文教厚生委員会	原案可決	30	1
議 第 7 号	工事請負契約の締結について(次期可燃ごみ処理施設の送電に伴う系統連系接続工事)	環境経済委員会	原案可決	31	0
議 第 8 号	備品の取得について(出雲学校給食センター食器洗浄システム)	文教厚生委員会	原案可決	31	0
議 第 9 号	備品の取得について(はしご付消防ポンプ自動車)	総務委員会	原案可決	31	0
議 第 10 号	市道路線の廃止について	建設水道委員会	原案可決	31	0
議 第 11 号	市道路線の認定について	建設水道委員会	原案可決	31	0
議 第 12 号	出雲市議会委員会条例の一部を改正する条例	—	原案可決	31	0
議 第 13 号	工事請負契約の締結について(次期可燃ごみ処理施設敷地造成工事)	環境経済委員会	原案可決	31	0
同 第 1 号	出雲市教育委員会委員の任命について(錦田 剛志 氏)	—	同 意	31	0
同 第 2 号	出雲市固定資産評価員の選任について(林 俊樹 氏)	—	同 意	31	0
承 第 1 号	専決処分の承認について(出雲市税条例の一部を改正する条例)	総務委員会	承 認	31	0
承 第 2 号	専決処分の承認について(出雲市都市計画税条例の一部を改正する条例)	総務委員会	承 認	31	0
承 第 3 号	専決処分の承認について(出雲市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例)	文教厚生委員会	承 認	31	0
承 第 4 号	専決処分の承認について(出雲市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例)	文教厚生委員会	承 認	31	0
意見書第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書	—	原案可決	31	0
意見書第2号	子どもの医療費助成に関する意見書	—	原案可決	31	0
請願第1号	高瀬川南側道路(上成橋東側)の改良と街灯に関する請願	建設水道委員会	採 択	29	2
請願第2号	塩冶一の谷線の早期着工を求める請願	建設水道委員会	採 択	31	0
請願第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願	総務委員会	採 択	31	0
平成29年度陳情第8号	子どもの医療費負担軽減に関する陳情	文教厚生委員会	不採択	19	12

※平成29年度陳情第8号の「賛成・反対」は、同陳情を「不採択」とした文教厚生委員会の報告に対する賛成・反対を表しています。
※付託委員会欄の「—」は、委員会への付託を省略したことを表しています。

請願・陳情・意見書の採決結果

【請願】

番号	件名	提出者	採決結果
1	高瀬川南側道路（上成橋東側）の改良と街灯に関する請願	出雲市大津町 大曲上成北本通り振興会 会長 岸 清逸 他1名	採択 に 賛成多数
2	塩冶一の谷線の早期着工を求める請願	出雲市天神町 塩冶自治協会 会長 板倉 重安 他3名	採択 に 全員賛成
3	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める請願	出雲市今市町 全日本自治団体労働組合 島根県本部 出雲市職員連合労働組合 執行委員長 坂根 孝昭	採択 に 全員賛成

【継続審査中の陳情】平成29年度

番号	件名	提出者	採決結果
8	子どもの医療費負担軽減に関する陳情	出雲市斐川町出西 出雲市の子育てを考える会 代表 川西 希理子	不採択 に 賛成多数
	なぜ不採択	本市の一般会計予算総額に占める子育て支援全体の割合が県内8市の中でも上位にある現状において、小学校卒業まで無料化あるいは負担軽減を実施することは、更に膨大な財源が継続的に必要になることから、医療費のみに特化せず、総合的な子育て支援の取り組みを実施すべきであること、また、医療費助成にあたり自治体間で助成範囲および助成額が異なることが、サービス競争を招き、自治体間で格差が生じる要因となるため、全国一律の医療費制度を国へ要望していくことが必要であるため。	

【意見書】

番号	件名	採決結果
1	地方財政の充実・強化を求める意見書	全員賛成により 原案可決
2	子どもの医療費助成に関する意見書	全員賛成により 原案可決

請願・陳情のご案内

請願・陳情は、皆さまの意見・要望を市政に反映させる重要な制度です。この制度によりどなたでも、市議会に直接要望することができます。

請願は出雲市議会議員が1名以上紹介議員となる必要があります。陳情は紹介議員は必要ありません。

請願と陳情の審査は、基本的に同じ取扱いとし、所管の常任委員会で審査した後に、本会議で結論を出します。（ただし、国などへ意見書を提出してほしい場合は、請願のみ受け付けることとしています。）

定例会ごとに提出締切があります。詳細は議会事務局議事係（TEL21-6579）にお尋ねいただくか、市議会ウェブサイトをご覧ください。

◆提出時に留意していただきたいこと

- 必ず日本語で、次の点を記載してください。（内容を表す件名、要旨、内容、提出年月日、代表の方の住所、氏名、押印、電話番号）
- 請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要です。
- 提出部数は、1部です。
- 請願や陳情の審議結果については、提出者にお知らせします。
- 提出された請願書・陳情書の内容、提出者（2人以上の場合は代表者）の氏名（名称）と住所（所在地）は、公表されますので、あらかじめご了承ください。

市政のここが聞きたい 一般質問

6月定例会市議会では21人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで(◎印のもの)掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。各項目は、一般質問通告一覧表に記載された項目です。

<p>錦織 稔 議員 (10ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館について ◎感染症対策事業について 	<p>湯浅 啓史 議員 (15ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「統一的な基準による地方公会計」に基づく財務諸表の公表について ◎中期財政計画策定について ・出雲市空家実態アンケート調査結果について
<p>川光 秀昭 議員 (10ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎新体育館の建設場所の決定と施設の運用について ・高齢者の障がい福祉サービスから介護保険の利用への移行について 	<p>後藤 由美 議員 (15ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京電力福島原発事故をうけてのエネルギー政策について ◎島根原発2号機再稼働、および3号機の新規稼働について ・急がれる子育て支援について
<p>勝部 順子 議員 (11ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎少子高齢化に対応できる、交通政策の取り組みについて ・企業主導型保育事業の現状と、更なる拡充について 	<p>児玉 俊雄 議員 (16ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎稗原ダムの多目的利活用について ・学校再編について
<p>今岡 真治 議員 (11ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎定住とUターンを促進する支援事業について 	<p>山内 英司 議員 (16ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ふるさと納税について
<p>福島 孝雄 議員 (12ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎高齢者の生きがいづくりの推進について ・災害時の民生委員・児童委員協議会の役割について ・改正農業経営基盤強化促進法・改正農地法について 	<p>板倉 一郎 議員 (17ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急増する外国籍住民への対応について ◎外国籍の子どもなどへの学習、進学、就労支援について
<p>大場 利信 議員 (12ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎出雲市立小中学校教職員の「人事権の移譲」について ・中高年の予防・健康づくり対策としてのデータヘルスについて 	<p>玉木 満 議員 (17ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎出雲休日・夜間診療所の状況について
<p>大谷 良治 議員 (13ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎災害時における要配慮者対策 ・ものづくり産業における人材育成について 	<p>西村 亮 議員 (18ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎地域振興と市道等の除草について ・外洋、内水面の漁業振興策について
<p>保科 孝充 議員 (13ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎斐川工業団地周辺対策に係る検討状況を伺う ・消防団員の入団・確保状況を伺う 	<p>寺本 淳一 議員 (18ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎出雲市消防団火災出場について
<p>伊藤 繁満 議員 (14ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎安全、安心なまちづくりの防犯対策について伺う 	<p>原 正雄 議員 (19ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎新体育館建設について
<p>岸 道三 議員 (14ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎子どもの貧困対策について ・臨時・非常勤職員の会計年度任用職員への移行について 	<p>神門 至 議員 (19ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎市内小学生の登下校の状況及び安全対策について ・新出雲市体育館・建設候補地の選定経過について ・市有財産における売却先の選定(審査)方法について
	<p>本田 一勇 議員 (20ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎島根県西部地震について

子どもの予防接種の再接種に 全額助成を

問 予防接種は子どもの健康を守る上でとても大切なことです。本市の目標である接種率100%に向け、接種率を高めるための取り組みについて伺います。

健康福祉部長 予防接種の対象年齢になられた方に個別に通知

を行っています。また、健康増進課および各支所の窓口で予防接種手帳を交付し、保健師からも予防接種についての説明を行っています。

問 骨髄移植などの治療を受けると、今まで受けたワクチンの抗体が無くなり、再度予防接種を受けなければならぬ可能性が生じます。医療機関にもよりますが、再接種には、およそ20万円かかると言われています。そのため、再接種の全額助成について、見解を伺います。



錦 織 稔

健康福祉部長 ワクチンの再接種費用の全額助成の要望を受けたい状況です。国や県の動向を注視しながら、他の自治体などの情報を収集したいと考えています。



厚生労働省が発行しているパンフレット

新体育館の候補地が決定しましたが 避難所として利用できますか

問 新体育館の建設の最適な候補地が決定されました。候補地の選定の方法を伺います。

市民文化部長 面積、交通アクセス、関連施設との連携、地元からの要望などを考慮して5カ所の候補地を選びました。これらの中から評価データを参考に

して最適地を県立大学付近としました。決定に際しては、出雲市の人口重心（大津朝倉）からの直線距離を最も重視しました。

問 県立大学付近は、原発から30km圏内にあり、大雨時の浸水想定エリアに指定されています。基本コンセプト中の「災害時の避難所として利用」が困難であると考えますが、見解を伺います。

市民文化部長 体育館ですので、第一義には全市民がスポーツ活動の拠点として利用可能で

あるという観点で候補地の検討を行いました。万一の時には十分な機能が発揮できるように、避難所機能については今後、検討していきます。



出雲市の人口重心の位置



川 光 秀 昭

パークタウンなどの地域にも 福祉バスを走らせて

問 公共交通機関の利用が困難な地域では、福祉バスが運行され、高齢の方や障がいのある方の外出機会を確保し、介護予防や健康増進が図られています。パークタウンや大津町の公営住宅などの地域にも福祉バスを走らせる事はできないでしょうか。

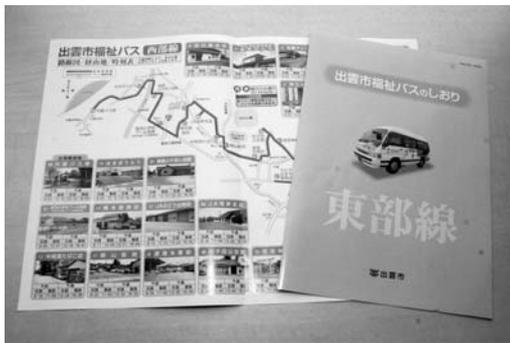
総合政策部長 福祉バスは、出雲地域と湖陵地域において合併以前から運行しています。運賃は一乗車100円と格安で利用できます。

全国的に高齢者などの移動手段の確保対策が大きな課題になっていきます。

市内の中心部であっても坂などがあり公共交通の利用が困難な地域の移動手段の確保対策は、ドア・ツー・ドアのデマンド型の輸送方式が適していると考えています。高齢者や障がいのある方にとって、より使いや



勝部 順子



出雲市福祉バスのしおり

すい路線バス、福祉バスとなるよう改善に努め、引き続きボランティア輸送などの手法も含めて検討します。

定住と移住を促進するために きめ細かな支援を

問 日本全体が人口減少社会を迎える中、全国的に移住者を呼び込み、定住を促進しようとするさまざまな支援策が提示され、地方自治体間の競争が激しさを増しています。

そこで、①出雲市の定住・移住促進策と、多様なニーズに対応する仕組みづくりを行う考えはないか②移住まではいかないが何らかの形で地域との関わりを持つ「関係人口」を創出する取り組みについて伺います。

市長 ①定住・移住促進策として、UITターン者向けに「移住促進住まいづくり助成」、市内在住者向けに「定住促進住まいづくり助成」を実施しています。

定住促進・人口減少対策は、全庁あげて取り組んでおり、複数の部署が連携して、相談やサポートする体制をつくっていきけるよう取り組みます。②都市圏の出身者会との交流やふるさと

応援寄附など、さまざまな形で関係人口の拡大を図っています。今後も、関係人口の視点も交え、人口減少対策に努めていきます。



出雲の移住・定住情報などを発信するウェブサイト「いずも暮らし」



今岡 真治

高齢者が安心して集うための 環境整備を望む

問 2040年には高齢者人口のピークを迎え、社会保障給付費が1.6倍（介護給付費2.4倍）になると推計されています。今後、健康寿命を延ばすことが重要ですが、さまざまな社会参加活動がある中で男性の参加が大変に少ないのが現状です。少しでも参加しやすい環境づくりが必要です。そこで伺います。①高齢者の居場所づくり、外出機会の確保の実態②男性の参加状況③男性トイレの汚物入れ設置状況。

健康福祉部長 ①新たな取り組みとして平成29年度より「通いの場」の立ち上げ支援事業を実施しています。又、高齢者ふれあいサロンが386箇所を実施されています。②男性の参加は15会場で23%です。参加を促すために、募集チラシや広報を工夫します。③現在どの施設にも男性トイレに汚物入れは設置し



福島 孝雄

ていません。今後、利用しやすい環境にするため、どのような方法が可能か、検討します。



出雲市立小中学校教職員の 人事権の移譲の要望について伺う

問 昨年7月に「市立小中学校教職員の人事権の移譲」を県に要望されましたが、全県的な教育水準の維持の観点から県下および本市の教育関係者に大きな波紋が生じています。「人事権の移譲」よりも広域的人事異動ルールの柔軟な運用を求める方が得策と考えますが、その後の状況の変化も踏まえ見解を伺います。

教育長 本市の各学校が掲げる教育目標の達成や課題の解決に向けた適材適所の配置や計画的な人材の育成に向けて、県教育委員会の現行の人事異動ルールでは対応できない面があります。現時点では「人事権の移譲」よりも人事異動ルールの抜本的見直しを要望していききたいと考えています。

問 市長の考えを伺います。

市長 島根県全体的ことを考え、現実的な対応として、各学校が持つ課題などに的確に対応可能な人事配置ができるよう、人事異動ルールを見直していただきたいと考えます。これから全県的な話し合いの中で出雲市の考え方を主張していきます。



「人事権の移譲」を求めた県への要望書



大場 利信

災害時における福祉避難所運営 マニュアルの早期作成を

問 出雲市では34カ所を福祉避難所に指定されています。今後、避難行動支援者の人数が増えていくことが想定されますが、福祉避難所指定の計画について伺います。

防災安全担当部長 現在の施設

では充分ではなく、指定施設以外についても協力を求めていく必要があります。指定箇所の少ない斐川地区を含め、人材確保も考慮しながら指定を広げていきます。

問 内閣府では、福祉避難所などのガイドラインが示されています。以前行った一般質問で「平時の取り組みなくして災害時の対応を行うことは不可能であるとの認識にたち、福祉避難所の運営マニュアルを作成すべき」と提案しましたが、その後の経過について伺います。



大谷 良治

防災安全担当部長 現状では、

一般の避難所運営マニュアルを利用しながら、福祉避難所を運営しています。内閣府のガイドラインを参考に、指定福祉避難所の状況に応じた、福祉避難所運営マニュアルを作成していく考えです。



斐川工業団地周辺の 交通対策検討状況を聞く

問 3月市議会で説明のあった、斐川工業団地周辺の交通をはじめとする周辺対策について、次の点について伺います。

①対策プロジェクト会議のメンバーに教育関係者の関与は②対策の短期・中期事業の具体的な事業③工業団地周辺の従業員数と今後の増築予定④道路の整備計画と「なのはな園」西交差点の改良。

経済環境部長 ①教育委員会関係者と連携し、意見を反映します。②短期は、新川中央線から平野西線への右折レーン設置、直江新川線への歩道照明の整備。中期では新川中央線主要交差点の右折レーンの新設を検討します。③誘致企業4社で約8400人。出雲村田製作所が工場新築、島根島津・スター精機が増築、島根富士通がライン増設をされます。④南部広域農道は市道移管をした上で具体的

協議を進めます。「なのはな園」西交差点の定周期信号機化は、一般的には、5・5mの車道幅員が前後20m必要とのことで、関係機関と調整します。



通学、通勤時の交通事故が心配される「なのはな園」西交差点



保科 孝充

公共施設・通学路に防犯対策の徹底を

問 犯罪の抑止効果として有効といわれている防犯カメラの設置状況に、公共施設の種類や地域によって大きく差異があるのは、設置基準が曖昧だからではないでしょうか。

また、小中学校・高校について、防犯カメラが設置されていない学校が相当数ありますので早急に設置を検討すべきと考えます。学校周り・通学路についても総点検を実施して防犯カメラの設置をする考えはないか伺います。

防災安全担当部長 市としては防犯カメラの設置基準は定めていません。地域に差異があるのはそれぞれの地域事情によるものと考えています。今後も出雲地区防犯協会が行っている防犯カメラ設置助成については引き続き支援する考えです。学校周り・通学路の安全対策は各学校の実状に応じて点検を行っております。



伊藤 繁 満



通学路に設置されている防犯カメラ

り、点検未実施の所も早急に働きかけを行います。併せて、緊急性・優先度を考慮し防犯協会と相談し防犯カメラの設置に努めます。

子どもの貧困問題の現状と対策を問う

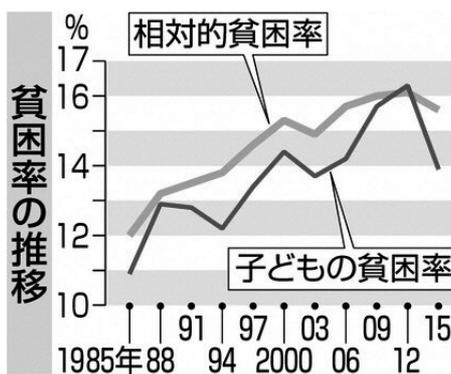
問 子どもの貧困は親の貧困と直結しています。こうした世帯で育つ子どもは、医療や食事、進学などの面で極めて不利な状況に置かれ、将来の貧困から抜け出せない傾向にあり、貧困問題への対応は喫緊の課題となっています。①子どもの貧困の現状②生活困窮者自立支援制度の評価について伺います。

労に向けた準備として基礎能力形成のための支援を行っております。

健康福祉部長 ①市としての数字は持ち合わせていませんが、

小中学校の就学のための援助を受けている方の人数は1742人、全児童生徒に占める割合は、約12%となっています。②必須事業の自立相談支援事業および住居確保給付金事業は、平成27年度から実施しています。個々相談がさまざまであり、個別の状況に応じ、就労支援や必要な支援を関係機関と連携して行っています。

任意事業では、平成28年度から就労準備支援事業を実施し、適正な生活習慣の確立や一般就



厚生労働省の国民生活基礎調査



岸 道 三

次期中期財政計画策定の考え方を問う

問 平成26年度から3カ年の行財政改革の集中改革期間を経て、改善傾向にある現在の市の財政状況をどう判断しますか。

市長 出雲市の財政は健全化の方向へ進み、現在の中期財政計画を上回る改善ができました。しかし、公債費の予算に占める割合は依然として高く、実質公債費比率は全国794市区中のワースト12位です。

問 今年度は平成31年度から3カ年の新たな中期財政計画を策定する年です。次の計画期間では、集中改革期間のような改善ペースが維持できるのでしょうか。

市長 次期計画の中では、次期可燃ごみ処理施設建設関係事業など建設事業費が大幅に増加する予定で、財政状況を示す指標の悪化を懸念しています。引き



湯 淺 啓 史



3年ごとに策定される「中期財政計画」

続き健全化判断比率の改善、地方債残高の圧縮を念頭に置き、健全な財政運営を目指します。

原発ゼロで安全・安心な出雲を 島根原発3号機新規稼働は認めるな

問 中国電力は「電力の安定供給のため3号機の新規稼働が必要不可欠」といいますが、中電管内の電力の安定供給のためには原発を動かさなくても問題がないことが明らかにされています。現に原発稼働なしでも暮らしています。所見を伺います。

防災安全担当部長 将来的には原子力発電の依存度を減らす必要があります。直ちに国内全ての原子力発電を廃炉にすることは困難であり、段階的に減らしていくことが現実的であると考えます。

問 3号機の新規稼働は認めない、動かさない。このことはつきり市としての意見として中電と県に伝えていただきたいです。

市長 多くの皆さんのご意見を



後 藤 由 美



新規稼働に向けた手続きが開始された島根原発3号機

しっかりとまとめた上で市民の暮らしと安全を守るために、その立場からの答えを出していきたいと思っています。

稗原ダムに来てみませんか

問 稗原ダムは農業用利水ダムとして流域の田畑を潤していますが、多目的利活用に対する市の考えを伺います。

農林水産部長 防災面では稗原ダムに洪水調整機能はありませんが、実質的には洪水調整の効果を生んでいます。小水力発電の可能性調査については採算性に課題があるとの結果で、今後技術開発の動向などを注視していきます。

問 ダム周辺は大変美しい景色が広がっていますので、多くの方に見てほしいと思います。桜の季節にダム周辺の花を見ながら野尻町を出発し、見々久町畑町内の方が植樹された桜ロードを通って帰る約7kmのコースはウォーキングイベントに最適です。ダムを核とした観光振興や地域の活性化策に対する考えを伺います。

農林水産部長 稗原ダム湖周辺



児玉俊雄

は平成26年度に地域が誇る観光スポットに認定しています。ここがより魅力ある観光資源となるよう地域の皆さまが主体となった観光づくりを支援する考えです。



地域が誇る観光スポット「稗原ダム湖周辺」

ふるさと納税の取り組みについて伺う

問 ふるさと納税の寄附金を出雲市は、応援基金に積み立て、納税者に指定された使途に基づき、観光・産業・福祉・教育・環境など幅広い分野に活用されており、この寄附金額が増額となれば、さらに市民の豊かな生活に大きく寄与すると考えます。

そこで、①昨年の寄附件数・寄附金額②今後の目標について伺います。

総合政策部長 ①寄附件数は約2万件で、寄附金額は約3億6千万円です。②本市の魅力を全面に押し出して、一人でも多くの皆さまから応援をしていただく必要があります。出雲のさまざまな魅力が十分伝わるように、ふるさと納税サイトなどでの効果的なPRや返礼品プラスアルファの情報発信などの工夫が必要であると感じています。市内の事業者の皆さんと一緒に

意見交換などを行うことで連携を強化し、ふるさと納税の確保と、地域の振興につながることを目指します。



山内英司



特産品等の詳細が掲載されている出雲市ふるさと納税特設サイト

外国籍の子どもへの学習・ 就労支援の充実を

問 外国籍の子どもが多い塩
治小学校の教育環境の整備、高
校進学の特例措置の見直しにつ
いて伺います。

総合政策部長 日本語指導環境
の充実のため、今年度校舎の増
築をおこないます。高校入試の
特例措置は、今年度その一部が
緩和され「入国後3年以内の者」
とされていた条件が「小学校4年
生以上の学年に編入学した者」
になりました。

問 塩治幼稚園へ通訳支援
員を配置する考えはないか伺い
ます。

総合政策部長 児童数が増加す
れば検討します。

問 義務教育期間を過ぎた子
どもたちなどへの学習、就労支
援について、県立東部高等技術
校や塩治小学校で増築予定の教



板倉 一郎

室を活用する考えはないか伺い
ます。

総合政策部長 就職に必要な技
術、知識や資格を習得するため
県立東部高等技術校の教育は非
常に有効であり、県に対し要請
します。塩治小学校について
も、必要な支援策への活用につ
いて検討します。



教室を増築する予定の塩治小学校

急な病気も安心して受診できる 「出雲休日・夜間診療所」を目指して

問 「出雲休日・夜間診療所」
の目的および診療状況について
伺います。

健康福祉部長 休日における初
期救急医療の確保を目的に、出
雲休日診療所として開設しまし
た。その後、平日夜間の小児科
診療も開始しました。休日診療
は内科と小児科、夜間診療は小
児科の診療を行っています。

問 待合室は約16畳、消防法
施行令に基づく収容人員は9人
です。感染症の流行期などは大
変混雑していることから、危機
管理面において問題があると思
っています。利用者の負担を
軽減するためにも、工夫する
ことができないか伺います。

健康福祉部長 待ち時間の短縮
や、駐車場が狭いことなど、考
えなければいけないところがあ
りますので、できることから対

応したいと思っています。



時間外に子どもが受診できる貴重な施設



玉木 満

地域振興にかかる市道河川などの除草活動について問う

問 道路・水路・法面のりめんなどの除草活動に関する質問は一年前にもしましたが、その後進展があつたのか伺います。除草活動は地域住民の深いご理解により行われています。今後高齢化により除草作業が一段と厳しくなり、市としての対策が必要不可欠です。除草作業の助成は安価であり鳥根県に比べれば非常に少なく、見直しが緊急課題と考えますが見解を伺います。

をお願いします。



西村 亮

都市建設部長 除草活動助成のうち道路除草は、県の活動助成を勘案し中山間地や半島部の皆さま方の活動支援の観点から、これまで年1回の助成を今年度から2回に拡充しました。市道・河川の維持管理については、市民の皆さまの協力が不可欠であり、地域ボランティア活動が継続するよう、適切な対応・支援を今後も行う考えです。引き続き皆さま方の理解と協力



除草作業のようす

出雲市消防団火災出場規則制定の目的は

問 今年1月に消防団用メー
ルシステム更新に伴い、火災出場指令に改めて運用を行うため、条例に定めるもののほか、根拠となる規則が必要となり、出雲市消防団火災出場規則が制定されました。しかし、多くの団員にとってその内容は理解しにくく、誤解を招いている状況にあります。そこで火災出場に対するこれまでの課題と規則制定の目的を伺います。

の出場が図られ、これによって小規模火災に対する団員の負担軽減と火災規模に応じた消防力の投入を明確化することができ
ます。



出雲市消防操法大会のようす

消防長 これまで消防団の現場指揮体制の構築や火災時の出場体制が明確ではなかったことなどの課題があり、火災発生時における消防団の出場に関し必要な事項を定め、出場隊の合理的な運用と火災防御の迅速適正化を図ることを目的としています。
規則により建物火災、林野火災以外には消防団は出場しませんが、今回の出場体制のルール化により火災規模に応じた団員



寺本 淳一

新体育館建設適地の評価・事業 スケジュールについて

問 3月議会最終日の全員協議会で、県立大学出雲キャンパス周辺が最適地とされて発表され、また、事業の進め方について報告されました。

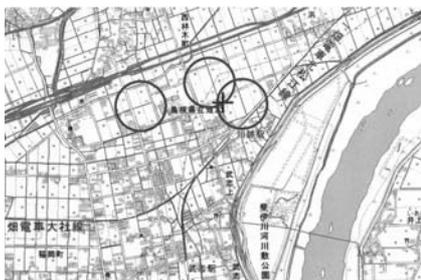
適地選定の評価の配分で、人口重心に力点が置かれており、山陰道インターチェンジ付近の神西地区の評価点が低くなることは、公平な評価とはいえないのではないかと、また、事業に住民の意見が反映される機会があるのか、専門大手コンサルタンの指導助言は求めないのか、進め方が拙速すぎないのか考えを伺います。

市民文化部長 神西地区は車社会の利便性評価はありますが、多くの市民が利用しやすいスポーツ振興の拠点であって、全市大会およびコンベンション機能などを想定したとき、人口重心に近いところと考えて評価しています。進め方ですが、本年



原 正 雄

度の基本計画策定および事業手法検討業務を受託したコンサルタントと十分検討協議をし、住民の意見を反映させる場を設けます。また、庁内検討委員会は必要に応じてメンバーを変えて対応します。



新体育館建設の最適地とされた県立大学出雲キャンパス周辺

市内小学生の登下校の状況および 安全対策は

問 近年、幼い児童の誘拐・殺害などの痛ましい事件が全国各地で発生しています。「未来を担う子どもたちの命を守る」その備えに万全を期す対策こそ、児童・家族・地域はもちろん、市の安心・安全なまちづくり施策の実現にあると考えます。そこで、①市内小学校の通学状況②通学路の決定③通学路の危険箇所や登下校の安全対策について伺います。

教育部長 ①市内小学校の徒歩通学の児童は9108人、バス通学は337人です。放課後児童クラブに通っている児童の下校は保護者の迎えを原則としています。②歩道の状況や交通量、さらに防犯上の視点や通学距離など、保護者と協議のうえ、各学校長が通学路を指定しています。③通学路の危険箇所や安全対策は、出雲市子ども安全センターや警察などの関係機

関で情報を共有し、特に不審者などの情報は都度、学校が保護者に対して文書やメールで情報を提供して注意喚起を行っています。



小学校の通学路



神 門 至

島根県西部地震の対応は

問 4月9日に起きた島根県西部地震の①出雲市内の被害状況②発生から復旧までの問題点について伺います。

防災安全担当部長 ①地域別の

家屋の被害状況は、出雲が16件、平田が1件、佐田が20件、多伎が15件、湖陵が3件、大社が2件、斐川が3件です。被害程度は、すべて建物の一部損壊(10%未満)でした。②初動体制を速やかにとり、被害調査などについても問題はなかったと考えています。

問 被災された方から「市役所は何もしてくれなかった。」と聞きました。多伎支所に話を聞くと、市民も市役所も互いに連絡を待っていたことがわかりました。有事の際は、防災無線を使った緊急放送で「何か問題や不安があれば市役所に連絡ください。」と伝える必要があると考えます。

災害時の緊急放送マニュアル



多くの亀裂が入った道路(多伎町田儀地区)



本田 一 勇

の有無について伺います。

防災安全担当部長 防災無線で流す放送内容は、避難勧告や避難指示など各災害ごとに決めています。

行政視察報告

機動的、弾力的な議会運営のありかたを調査

議会運営委員会

5月14日～16日

平成24年の地方自治法改正で条例により、定例会・臨時会の区別を設けず、通年会期制の導入が可能になりました。

宮城県登米市議会は、平成27年1月から通年議会を導入しており、運用状況やメリット・デメリットなどを今回の視察で調査しました。

出雲市議会は、現在年4回の定例会と臨時会を開催していますが、閉会中も常任委員会などで常に調査や議会活動を行っています。また災害時や緊急を要する場合などの速やかな対応は現行法でも可能ですが、より機動的・弾力的な議会運営について今後も調査をしていきます。

(飯塚俊之 記)



とみやま市議会を視察

窓口業務の総合窓口化、民間委託について視察

総務委員会

5月29日～31日

神奈川県海老名市では、総合窓口（市民総合窓口・福祉総合窓口）を民間委託し、市民サービスを向上させています。メリットとしては、安定的な人員配置が図られることや、繁忙期・閑散期に合わせた人員の調整などがあります。出雲市としては、民間委託に関しては課題が多いと感じますが、市独自の市民サービス（ワンストップ化）の向上を図る必要があると思います。海老名市のモットーである「来庁者にとって、快適にサービスの提供を受ける事ができる市役所を目指す」との考えは共感できます。そういう意味での総合窓口化は、手続きの簡略・待ち時間の短縮につながると思います。今後、支所機能のあり方検討に併せて考える必要があると感じました。

（福島孝雄 記）



海老名市市民総合窓口の委託状況を視察

外国人子ども教育推進事業の取り組みを視察

文教厚生委員会

5月21日～23日

静岡県浜松市の外国人児童が93人在籍する瑞穂小学校では、外国人教育担当職員をはじめ、教科指導員、就学指導員、NPO日本語指導、放課後クラブなど多くの人員を配置しています。個別シートを作成し、実態に応じた指導や児童の学び合いを促し学級全体の学ぶ力を高めるようにする指導が行われています。しかし、児童の数が多いため、指導できる人数が制限され、個別指導がなかなかできないことが課題となっています。また、就学前、入学前ガイダンスの重要性、進路についての情報提供、市内で活躍している社会人や大学生を学校に派遣して将来の道しるべとなる話を聞く機会を設け、児童が安心して学べる体制が必要であることを学びました。

（寺本淳一 記）



静岡県浜松市瑞穂小学校での外国人児童の授業

農家レストラン「まほろば畑」を視察

環境経済委員会

5月21日～23日

高知県南国市なつくは、人口4万7540人で高知市に次ぐ第2の都市です。地産地消・安心安全への関心が高まるなか南国市産の野菜を生かし、生産者と消費者をつなぐ場として、農家レストラン「まほろば畑」がオープンしました。

場所は、道の駅「南国カフェ レスト風良里」で定休日を活用し、5グループが交代で地元食材を使った料理を提供します。

オープン当初は多くの人が来店し、30分で用意した料理がなくなるほどでした。改善策として1日3回に分けてオープンし、予約制をとられています。

今後は後継者の育成や労働時間の見直し、賃金の適正化を課題として検討していくとのことでした。

(渡部 勝 記)



農家レストラン「まほろば畑」

奈良市の下水道事業の公営企業化の取り組み

建設水道委員会

5月21日～23日

奈良県奈良市の下水道事業は、平成22年度決算において16億円の資金不足を一般会計からの基準外繰入で対処されていた。同市ではこの解消に向けて外部有識者による改善検討会を設置し、現状や課題を検証し、経営改善に向け11項目の施策を盛り込んだ提言がなされました。

これに併せ平成25年9月には16年ぶりの料金値上げを実施され、平成26年4月には地方公営企業法が適用され、現在に至っています。

こうした料金改定や公営企業化の取り組みにより基準外繰入もほぼ解消されています。今後は、出雲市と同様に耐用年数を経過した施設の更新など事業費の確保が大きな課題であると感じたところです。

(原 正雄 記)



奈良市の下水道事業を視察

政務活動費の使途を説明します

平成29年度政務活動費の執行状況

○政務活動費とは

出雲市では、市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、政務活動費を交付しています。

○交付対象と交付額

出雲市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、各会派および会派に所属しない議員に対して交付されます。

平成29年度は4月改選のため、交付額は、一人当たり年額41万2500円（5月からの11カ月分）です。

平成29年度 政務活動費収支報告（会派・議員別）

【単位：円】

会 派	真誠 クラブ	平成 クラブ	政雲 クラブ	公明党	市民 クラブ	会派に属さない議員			合 計
						板倉一郎議員	神門 至議員	後藤由美議員	
議員数	10人	7人	6人	3人	2人	1人	1人	1人	31人
交付額	4,125,000	2,887,500	2,475,000	1,237,500	825,000	412,500	412,500	412,500	12,787,500
雑収入（利息）	16	6	7	4	3	1	0	1	38
調査研究費	1,563,103	2,059,232	1,059,442	666,364	0	208,382	0	0	5,556,523
研修費	656,952	147,600	818,158	0	101,146	0	0	0	1,723,856
広報費	1,716,031	421,622	204,309	162,088	446,040	0	120,000	326,754	3,396,844
広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	52,682	6,064	12,666	10,051	0	73,757	0	0	155,220
資料購入費	103,275	235,340	390,859	187,893	0	66,330	0	11,604	995,301
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	4,667	0	0	0	4,667
支出合計	4,092,043	2,869,858	2,485,434	1,026,396	551,853	348,469	120,000	338,358	11,832,411
政務活動費返還額	32,957	17,642	0	211,104	273,147	64,031	292,500	74,142	965,523
利子返還額	16	6	7	4	3	1	0	1	38

※山内英司議員は平成29年度政務活動費の交付申請なし。

この政務活動費に関する書類は、情報公開請求により写しをご覧いただくことができます。（コピーは有料になります。）

議会活動（平成30年5月11日～平成30年8月10日に開催された会議）

5月11日(金) 議会運営委員会、理事会、全員協議会、スポーツ推進協議会	19日(火) 行財政改革特別委員会・総務委員会 連合審査会、原子力発電・エネルギー政策調査特別委員会・総務委員会 合同協議会
14日(月)～16日(木) 議会運営委員会視察調査	25日(月) 新幹線整備促進議員連盟会議
17日(木) 環境経済委員会	26日(火) 議会運営委員会、理事会、トキ協議会、議会改革・調査特別委員会
21日(月)～23日(水) 文教厚生委員会行政視察、環境経済委員会行政視察、建設水道委員会行政視察	27日(水) 森林・林産業対策協議会
23日(水) 全国民間空港所在都市議会協議会第93回定期総会	28日(木) 全員協議会
24日(木) 議会改革・調査特別委員会	7月 2日(月)～4日(水) 議会改革・調査特別委員会視察調査
29日(火)～31日(木) 総務委員会行政視察	9日(月)～11日(水) 行財政改革特別委員会行政視察
30日(水) 全国市議会議長会第94回定期総会	13日(金) 議会運営委員会、水産・漁業対策協議会
31日(木) 文教厚生委員会	17日(火) 議会広報誌編集委員会、議会改革・調査特別委員会
6月 1日(金) 一畑電車沿線議員連絡協議会総会・幹事会	18日(水) 農政議員連盟会議
4日(月) 議会運営委員会、広報広聴調査・推進委員会	23日(月)～24日(火) 出雲市友好交流都市津山市・諫早市三市議会交流会議
7日(木) 島根原子力発電所視察	24日(火) 議会広報誌編集委員会
11日(月) 議会運営委員会、全員協議会、議会改革・調査特別委員会	25日(水) 議会改革・調査特別委員会
13日(水) 議会運営委員会	30日(月) 議会運営委員会、理事会、全員協議会、島根県市議会議長会議員研修会
15日(金) 議会広報誌編集委員会	8月 1日(水) 環境経済委員会・トキ協議会、国県道対策協議会
	2日(木) 中海・宍道湖圏城市議会議長会
	9日(木) 全国市議会議長会第135回国会对策委員会

今後の本会議および委員会の開催予定

平成30年度 9月定例市議会 会期日程(案)

8月30日(木) 本会議(開会、議案上程・説明)	11日(火) 環境経済委員会・予算特別委員会環境経済分科会
9月 3日(月) 本会議(一般質問・1日目)	12日(水) 建設水道委員会・予算特別委員会建設水道分科会
4日(火) 本会議(一般質問・2日目)	14日(金) 予算特別委員会
5日(水) 本会議(一般質問・3日目)	18日(火) 決算特別委員会(1日目)
6日(木) 本会議(一般質問・4日目、議案質疑、委員会付託)、予算特別委員会	19日(水) 決算特別委員会(2日目)
7日(金) 総務委員会・予算特別委員会総務分科会	20日(木) 決算特別委員会(3日目)
10日(月) 文教厚生委員会・予算特別委員会文教厚生分科会	21日(金) 決算特別委員会(4日目)
	27日(木) 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)

※一般質問を行う議員数により、9月6日の日程が9月5日に繰り上がり、9月6日は開催されないことがあります。

編集後記

『二面、緑』この季節の出雲の風景です。草取り、草刈り、草むしり、草、草、草……。前を見ても、後ろを見ても、青々とした大草山。毎年このとですが、草との戦いも中盤戦を迎えました。こんなに草の生える国はあるのでしょうか。一方、世界中で砂漠化が進んでいます。中国のゴビ砂漠もアフリカのサハラ砂漠もそうです。

6月議会の一般質問に除草に関する質問がありました。『県道の草刈は県がやればよい。市道は市がやるべきだ』それでいいのだろうか」との質問に共感を覚えました。広い国土をきれいに草刈りすることなどできるはずありません。除草事業に実績のある全国の自治体に話を聞いてみたいと思いました。『草を征する者は日本を征する』は言い過ぎでしょうか。

議会広報誌編集委員

(錦織 稔)

委員(議長)	委員	副委員長	委員長								
川上	福代	西村	寺本	本田	錦織	児玉	山内	玉木	今岡	大谷	湯浅
幸博	秀洋	亮	淳一	一勇	俊稔	英雄	満司	真治	良治	啓史	

議会広報誌編集委員会

議会に関するお問い合わせは

市議会だよりにお気づきの点がございましたらご意見をお寄せください。より充実した紙面づくりの参考とさせていただきます。

出雲市議会事務局

〒693-8530 出雲市今市町70

TEL : (0853) 21-6246 FAX : (0853) 21-6251

URL : <https://gikai.izumo-city.jp>

メール : gikai@city.izumo.shimane.jp



本誌は地球環境に優しい植物油インキを使用しております。